一月十三日　夕刊

常磐毎日新聞

日刊

定價一部金貳錢　月金五拾錢　郵税五厘
廣告料五段十二字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社

心境を語る　二

平自營會霜月寮　白土五郎

六ケ年餘の牢獄生活に依つて得たものは何にか？

それはものに打當つて見なければ解らない、溫床で育つた植物の強い陽の光や嵐にもろくも倒れる如く、外境の刺戟から遠ざかつて築き上げた牢獄の心境が非常時の暴風に吹きまくられ動搖し、もろくも破れるやうなことがあつたら世人の笑いどころか、自分の意氣地なさと自の廢人たることを證明するやうなものだ。しからば牢獄で築き上げたと云ふ心境は何にか？

それは何んであるか云はれぬ、只だ寂しい心である今まで動いて止まなかつた自己の中に一つの靜なるものを見つけた感じがする、捨てゝかへりみなかつたものの中にもある意義のあるやうな感じがする。非常時と云ふ中にも動かざるあるものがあることを感じられる。それは他にあるのでなくして自己の中にあると云ふことをおぼろげながら解せられる。

而して自己の愚なることが痛感される、自己の愚であることを深く痛感し、心の内に向ける時、今迄でさまで感じなかつた古人の言が面白くなつた。

○

東洋に流れてゐる思想、目に見えざるもの、平凡として、閑人の寢言として、踏みつけられ、忘れられてゐた流、私達が嫌つてゐた賤しんでゐた流、その流れを飲む時、汚れた腹わたが一時に洗滌されるやうだ。

禪の貧乏生活などたまらない愉快に思はれる。人里離れた山間に孤獨の禪僧が細々といその日〳〵を暮らしてゐる。

◎明日の献立◎

【朝】味噌汁――さつま芋
小付　やきのり

【書】トースト　濁りスープ
半熟玉子　紅茶　果物

【晩】白菜とむきみ煮　浸し
清汁　あられ豆腐
もみのり

ある人が
「和尚　年　多少ぞ」
と尋ねれば、和尚すましたものだ。
「春風　又　秋風」
なんと痛快ではないか。
「如何なるか　是　和尚の家風」

すかさず
「渾身不値五文錢」
なんと氣持のよい風情ではないか。まだある。快川和尚の梵死だ。
安禪必すしも山水を復ぬす
心頭滅却すれば火自ら涼し
だん〳〵燒けて來る山門の上で門答商量をなしながら、靜かに自分も燒けて行く。逃げやうともせず、降參しやうともせず。義のために身を燒ゐて行く。騷ぎもせず、たちろきもせず、燒けて行く、靜かに、寂かに……。

生活

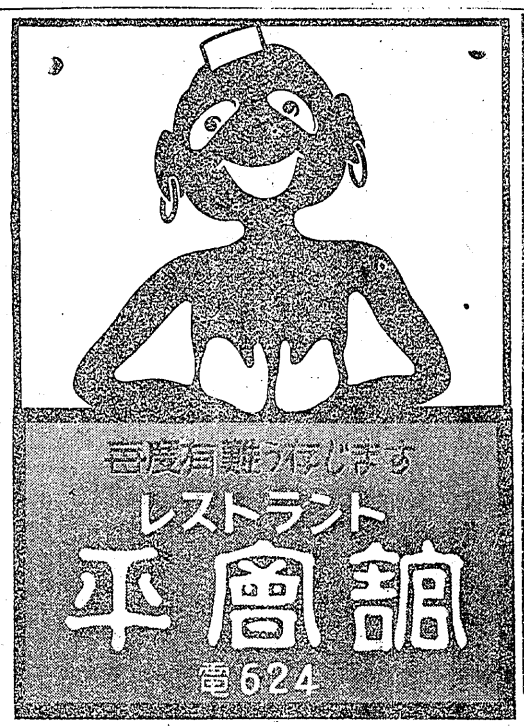
長瀨生

鵲の羽音
灰色の空を
ポプラの上を
かすめて行く黑い影
鍬をかついで農夫が
じいつと思に沈んで見上げる

無題

冷やかな理智的打算の蠶食する時
執着と忍從の煩惱が崩されさうになる
しかも干滿する波浪に
翫弄され續けながらも
幽かに仄めく永遠の一途
をにらんで
嶄然として起つ男だ

お年始のお客様に
魚清のサービス
さしみと御飯　吸物おしんこ付
二十五錢
三品　五十せん
五品　八十せん
平三警察署通り
魚清食堂
電話六三三



一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雜誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
電六三〇番
（申込次第規則書進呈）

磐城名産
干やなぎ
美味鰹しほから
當店特製
鰹節賣出し
魚清屋商
志賀盛榮商店
平四丁目（電一二三）

御會葬御禮
昭和十一年一月一二日
親戚總代
男　矢吹大一郎
矢吹一男
四倉酉次郎
矢吹豐

夜診
胃腸病科　内科
性病科　花柳病科
皮膚科　性病科
專門
松村胃腸性病醫院
（平町南一〇七番）
療間

飯野平窪両村に
各部長が直談判
▽……合併交渉愈よ進む
▽……神谷も滿更でない

(既報)平町の隣接村合併交渉部長會は十一日午後一時より平町會議室に於て開かれたが内郷、好間両村は反對の意志表示を爲して來て居り今後の動向を見ねば確たる方針を樹立し得ざる爲最も有望視される飯野平窪に對して各部長出動交渉することになり十四日夫々出張するが新春第一回の同交渉に主力を注いて有利な展開を開陳すべく非常に期待されてゐる

尚神谷村は大體合併可能と見られるも依然一部反對議員あるため未解決となつてゐるが正式に反對の回答の無い處から見て結局は案外容易に纏まるものと察知され時期の問題となつた模様であると

片濱經由の
賛成に調印を
江名町長が取纏め中

河野江名町長は十日四倉町役場に同町新妻町長を訪問したが之は平小鐵道片濱廻線の調印取纏めと見られてゐる

同問題に就いては最近湯本經由との說ある爲江名豊間、高久の各町村長は隣接町村の賛成を求めて内田鐵道大臣にあくまで片濱迂廻線にして欲しいと最後の陳情を試みることになり目下調印を纏めて十四日頃提出を決定した爲めである

破産二十件
昨年の民事々件

平區裁判所民事部の昨年中の取扱件數は前年繰越百九十八件を加へて合計四百四十八件であるがその内譯は

通常訴訟五百五十九件、督促千二百四十六件、競賣四百三十一件、破産三十一件、債務調停二百二十一件

其他で依然として督促が第一位でこの解決した方面より見ると

原告の勝訴となりたるもの百三十五件、原告の敗訴となりたるもの三十八件、却下七件、取下五百二十六件、金錢債務調停三百二十三件、假執行宣告による支拂命令處分六百三十一件、過料三百二件

其他となり最後の手段である假執行支拂命令が最も多く破産の宣告を受けたるもの二十件あり憂鬱な世相を反映してゐる

凶作對策工事は
何れも道路改修

郡下の凶作對策工事費は一萬三千圓を縣より配當されたが平土木監督所はこの施工個所を左の如く決定した何れも町村道路改修である

永戸、箕輪(三四〇〇圓)柳小屋より合戸に至る間△三阪澤渡(五四〇〇圓)中三阪より澤渡役場前に至る間△上小川(五〇〇圓)下小川橋附近一帶△川前(三七〇〇圓)桶賣部落地内

窮乏打開の陳情
凶作割當交附に注文

田人組合村は凶作對策工事費として縣より九千九百圓を割當交附されたがこれが施工に當つて左記各項を考慮、村民の窮乏を打開されたいと村長蛭田千代之助氏は十二日平土木監督所に陳情した

一、土木事業を主とすること

イ、田人村中央部を貫く縣道植田[illegible]五千圓内外を割當てる事

ロ、縣道勿來線はこの殘金を以つて充てること

二、牧野改良その他馬産關係事業は土木事業に相次ぐ相當額を以つて配當する樣考慮されたき事

三、村道工事費は目下既配當額を以つて施工中につき今回は見合せること

優秀作を縣へ
磐城

高等女學校は縣で募集中の選擧肅正に關する清書を優秀作の左の八点中より一点を選び送附すると

二年大和田智惠子　二年中津アヤ　一年宮川幸子　一年石川清子　三年大塚つね　一年根本つね子　三年野村すみ子　一年關内道子

税務協會を組織し
納税成績向上に努む

平税務出張所管内各町村關係吏員並に平税務出張所員を以つて組織する石城郡税務協會は税務に關する諸般の研究改善に關する調査善納税成績向上を圖るのを目的とするもので既に他郡税務出張所に於ては設立を見てゐるので本郡に於ても設立後之が縣聯合會を設立して縣費より相當額の補助或は助成金の支持を受けて活動に資さんとするものである

町村長會
けふ總會
提出諸案件

町村長會石城支會總會は本十三日午前十時より平町會議室に開催、左記案を提出協議した

選擧肅正運動並に選擧に關する件、昭和十一年度町村豫算編成に關する件入退營者冗費節約等に關する件、町村吏員互助會補給金拂込の件、支會負擔金納入及各種調査報告の件、評議員補給の件、町村吏員表彰該當者調査件、各種主任會設立に關する件、雜件

豫算内譯
町村長會決定

町村長會石城支會十一年度歳入出豫算は歳入出共二千八百五十圓であるが歳入内譯は會費二千三百五十圓、補助金八十圓、雜收入二十圓、繰越金四百圓で歳出は事務所費五百九十一圓、會議費三百五十圓、事業費六百五十圓、負擔費八百七十圓、補助金三百五十圓、豫備費六十九圓である

尚支會費は第一期五月卅日、第二期十月卅日の二期に分賦して徵收することになつた

江名漁港
第二期改修
測量が進行

(既報)五十餘萬圓の巨費を投じて大改修を施すことになつた江名漁港は過般來縣土木課原技師が出張測量中の處更に縣土木課港灣主任木村技師が十日來郡三日間に亘つて同港内の潮流その他海面關係の調査を行つたが着工は十一年度か[illegible]体三、四年繼續、工費廿五萬圓で第一期工事となる模樣である

佐藤校長待遇
内郷

尋常高等小學校長佐藤一氏は此程高等官六等待遇に叙された

平中央青果市況

▽青物部

人參	一貫目	0、一三—0、0八
牛蒡	同	0、一〇—0、一七
葉葱	同	0、一四—0、一〇
馬鈴薯	同	0、一六—0、一五
甘藷	同	0、一三—0、一三
里芋	同	0、一九—0、一五
白菜	同	0、0八—0、0六
ホーレン草	一把	0、0一—0、0八五
干大根	百本	一、八〇—0、五〇
油菜	百把	0、三五—0、三〇

▽果物部

みかん	靜岡	0、四二—0、三九
同	早州	0、四〇—0、三三
同	紀州	0、四二—0、四〇
林檎	子壽	二、五〇—二、三〇
同	雪	二、三〇—二、00
同	月	二、00—一、五〇
干柿		四、九〇—四、五〇
ネーブル(大箱)		四、00—二、五〇

平町人事

回婚姻

△東京市麴町區中六番町四七　山岡龍雄氏(二一八)紺屋町一三　志賀喜美子さん(二一五)

△仲間町五四　佐藤二郎氏(二一五)二丁目二九　鈴木キリ子さん(二一九)

温泉湧出に折紙つく

きのふ湯本温泉開鑿起工式

▽……全町歡喜に沸き立つ

十二日午後十時から湯本町温泉復活の斜坑開鑿工事起工式は同町字作の道地内で擧行されたが工費七萬八千圓、斜坑は廿四度の傾斜で東北方に向つて三百七十間堀り下げ地下千三百五十尺の湯脈に到達して更に鐵管に依り一旦觀音山に引上げの上配湯の筈であるが入山炭礦技術部長大貫工學士の調査に依ると温泉は攝氏五度で一分間五十立方の湧出量が確實の見込とあり遲くも來る十月までには竣工せしむることになつたので同町は往年の温泉に依る活況來を豫想して歡喜に沸きたつてゐると

霜焼に泣く

兒童の手當

第一校に百七十餘

藥湯を毎日十分間

平町各小學校は可憐な低學年兒童のため暖房設備霜焼手當其他細心の注意を拂つてゐるが平第一校の調査による霜焼けに罹つてゐる兒童は

（一年）三五名（二年）二八名（三年）一六名（四年）二三名（五年）二六名（六年）二四名（高一）一三名（高二）八名

で合計百七十二名を數へてゐるが學校では右治療に學校看護婦に專任從事せしめ今年より無花果より製した藥湯に約十分間患部を漬け更に藥を塗布する新療法を試み霜焼け征服を行つてゐる

書初展入賞兒童

平第一小學校は今十三日朝禮の際去る九日より同校講堂に開かれた書初展覽會優秀者の賞狀授與式を行つたが入賞兒童左の如し

（尋一）大泉英明　岡田早苗　薗部武久　墨木一夫　吉成英夫　大和田武夫　猪狩和秋　水竹清　高野和夫　鈴木廣男　馬目修義　伊藤喜矢　鈴木甚司　長谷川借之　菅野達雄

（尋二）根本英司　青沼健雄　小林智平　五十嵐昭平　市原亮三　正木和夫　佐川光界　國井英吉　兒山亘　山崎慶一　鈴木紀四夫　長谷川直義　根岸乾雄　水野昭之　渡邊眞一

（尋三）千葉文彦　水津由雄　小齊幹夫　栗田孝一　市原二朗　大嶺慶一　鈴木啓悟　志田仁男　端山節男　小野健二郎　大和田一郎　鳥海司郎　本田英夫　作山和男　田代浩康

（尋四）川崎繼男　安藤康裕　江尻豊　關内正雄　三瓶繁美　木澤榮六　鈴木仁　菊地信榮　鈴木德次郎　柏木洋二　藤居喜一郎　磯山一朗　鈴木秀直　山崎靖夫　小林茂　牧野聰一郎　國府田信良　石田吉男

（尋五）横山榮一　鈴木滿男　水野敏夫　藤田文明　小山秀夫　黑澤簿雅　鈴木英藏　磯上剛　中澤賢太郎　小野晃平　色川英　岡田孝平　薄葉忠久　大塚寛　石川榮一

（尋六）小齊宗司　龜山正邦　飯島登司　小松崎富夫　小谷由雄　飛田常重　鈴木善彌　大塚勇　櫻井博　飯島賢一　松本眞平　鈴木重雄　小齊實　渡邊

天氣豫報

今明日の天氣

仙台放送局

今明も明日も北西の風晴曇半す

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間 ラヂオスケッチ「暖かい冬の日」笹谷兒童劇協會

▼後六、二五 農村經營の成功談 解説農林省經濟更生部長農學博士小平權一

▼後七、三〇 座談會「南方を語る」司會公爵近衛文麿

▼後八、三〇 管絃樂（近代現代の音樂第一回）新交響樂團

▼後九、〇〇 長唄「幻」杵屋佐吉

▼後九、三〇 時報 ニュース 明日の歴史 氣象通報 番組豫告

明日の部

▼前七、三〇 朝の修養「聖德太子の御生涯」三 高島米峰

▼前九、〇〇 衛生メモ

▼前一〇、一〇 幼兒の時間「歌あそび」東京女高師付屬幼稚園兒

▼前一〇、三〇 家庭座「育兒十二ヶ月」一 小山武夫

▼後〇、〇五 二絃琵「鶴の舞」「新曲春遊び」藤舍蘆水他

▼後一、一〇 選擧肅正大講演會「道義日本の選擧肅正」堀切善次郎…仙臺西公園公會堂中繼

▼後二、〇〇 小學生の時間 尋三國語唱歌劇「雀のお宿」大阪泉尾第二小學兒童

▼後二、四〇 小學生の時間 高一國語討論「農業と工業」愛宕小學及附中小學兒童

▼後三、三〇 大相撲實況…兩國國技館中繼

▼後六、〇〇 子供の時間 ラヂオスケッチ「明日は嫁入り」木馬童話劇研究會

▼後六、二五 農村經營の成功談「我が養蠶組合と產繭取引の合理化」白井芳美 解説明石弘

▼後七、三〇 講演「時代の尖端を行く輕合金の話」石田四郎

▼後八、〇〇 松茸祭實況…仙臺八幡町大崎八幡境内中繼

▼後八、二〇 義太夫淡路人形淨るり「奥州秀衡有驚花婿」竹本島之助

▼後八、五〇 立體漫談「一年の計」西村樂天 東日出子

二升の酒に泥酔

河中に墜落して

重傷を負ひ間もなく絶命

好間村大字北好間字堂田居住萩原炭礦坑夫耶摩郡月輪村生安部清藏（四二）は去る十一日午後十二時頃約二升餘の酒を呑み泥酔同村好間川支流の假橋を通行中高さ一丈餘の河中に墜落頭部に重傷を負ひ間もなく絶命した

新入營の鈴木寛君

拔群の成績

今回若松歩兵廿九聯隊へ入營した平町青年學校卒業生長橋町加藤自轉車店々員鈴木寛君は去る十一日營内で行はれた青年學校卒業生檢定試驗を拔群の成績でパスした由

澤庵漬を

即賣會出品

小名濱町農產加工組合は十二日午前八時から町役場會議室に於て役員會を開き來る十八日から三日間福島市に催される縣主催の縣内副業品即賣會に澤庵漬出品の件を協議した、尙即賣會の當日開かれる取引懇談會には顧問小野晉平、組合長菅原彌作の兩氏出席する

金品物色中の賊捕はる

四倉町字新町無職大河原忠一（三六）は十三日午前一時半頃小名濱町小野長吉方に忍び入り金品物色中平署員に逮捕されたが餘罪ある見込で取調べ中

天刑病の救助

平町役場に十三日午前中ヘロイン施藥方を願ひ出た男あつたが右は河沼郡坂下町諏訪前生れ當時東京市に居住したる江川幸一（三九）で癩患者で東京市癩收容所が滿員、青森縣收容所に徒歩で向ふ途中注射液缺乏して路行困難となつたものであると

小名海軍講演

小名濱海軍部は來る十五日午後六時から小學校講堂に於て海軍大佐横山茂氏の時局講演會を催す由

平町一部斷水

平町水道部は田町地内驛前より金春前までの配水管敷設工事のため本十三日午後十時より翌朝五時まで搔槌小路田町、南白銀町全部二、三四五丁目（各町北側）大工町一部に就き斷水する

平職業紹介所報告

回 人を求める方

△精米店員 廿才迄 尋卒 以上 月給五六圓

△表具見習 廿才迄 年給五十圓前後

△飲食店 雜役 廿才迄 月給五圓

△トラック助手 廿才前後 日給六十錢

回 職を求める方

△集金人 四十六才 高卒

井坂醫院

平町田町

電話五五九番

瓦解の建設

（禁上映上演禁止）

悟道軒圓玉（作）
丸尾至陽（畫）

二二　三郎逃げ込む

三郎は捕へられた手を振り拂ひ短刀を引き拔き橋の前後に目を配り

三『人違ひをするな』

○『野郎神妙にしろ、われは奥州浪人の飯田九平といふ者だな』

三『俺はその樣な者ではない、三島三郎と申す者だ』

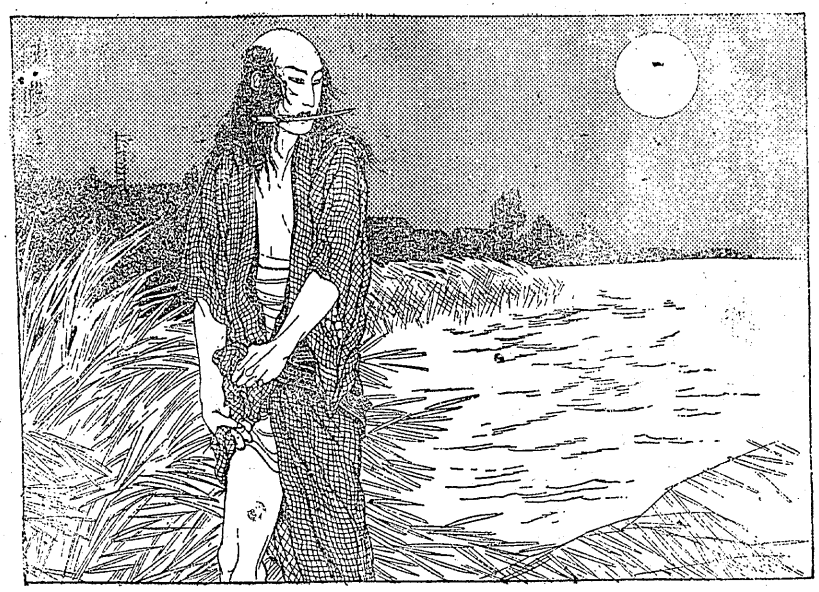
○『その三島三郎に御用だ尋常に縄にかゝれ』

と叫んだ、この時に最前この奴が振つた提燈が合圖になつたか、橋をはさんで西と東からバラ〳〵〳〵ッと詰めよる手先、橋の上ならば遁れることはなるまいと、そこでこゝまで引き出した、三郎はこれを見て彼等の張つた網にかゝつたかと思つたが、短刀を逆手に取つて橋の欄干にぴたりと背をもたせぢつと手先を睨めつけた。御用だアー、神妙にしろと、バッ〳〵〳〵〳〵と捕縄を網のやうにひろげてはなげる、その内に二三人左右から飛びつくを足をあげて蹴仆しまた短刀にて突いた

○『氣をつけえ、刄物があるぞ、御用だ』

と十手を持つて打つ来た、三郎は身をかはしてエイと叫んだが欄干をこえて川へどぶーんと飛び込んだ

○『御用だ神妙にしろ、いけねえいけねえ川へ入つた〳〵』



チラ〳〵チラ〳〵提燈の火が川に映じ

○『橋の下を見ろ』

△『誰かゐるやうだぞ、あれは人間だらう、それ捕へろ』

とさつ〳〵〳〵〳〵と水を切つて舟は次第に近よる三郎は水底を潜つて中洲まで來てそこで浮き上り、ホッと一息ついたが舟の數は増すばかり

三『これはいかぬ、この中洲をしらべられると一大事こゝには居られぬ』

△『忌々しい奴だ、それ舟を出せ』

手先は橋を渡つて深川に來たが、こゝには網船がある、それへ乘りうつり繋を觀いて漕ぎ出した、三郎は橋杭へ手をかけて浮き上り岸を見ると舟が二三艘出てとまた水に入つて流れ寄る莚をかむり大橋の左の内川に入つた。この川を西に行くと今の土州橋から箱崎へ出る、この内川には入つたがあとから舟が來る、すると向ふに棧橋が見えた、それを目あ泳ぎつきヒラリとこの棧橋に上ると、船板塀があつて中から赤松が一本枝をのばして川をのぞいてゐる、塀の内は新築の二隔家、三郎は塀を越えてヒラリと庭に飛び下り、見ると時代のついた濡鶯の石燈籠に敷石、庭の廣さは五坪ばかり、雨戸のそとまで忍び込んで來て中の樣子を窺つた

女『おかねや、何だか川が騒々しいよちよ、いと起きて見ておくれ、身投げでもあつたかね、おかねや何うしたんだねこの人は、お前のやうな人だよ燒け死ぬのは』

といふはたしかに若い女三郎はスル〳〵と床下に這ひ込んだ、女は立つて來て縁の雨戸をひらき庭下駄をはいて敷石づたいに塀の排戸をひらいて棧橋に出た、この間に三郎は床下から這ひ出して縁から梯子を上つて二隔の六疊の座敷に飛び込んだ。

女はこんなことは知らず棧橋に立つて見てゐるとそれへ舟が一艘來た

○『そこにゐるのは誰だ』

女『お前さんがたは何だえ』

○『御用を聞いてゐるものだ、今這ひ込みものが川へ入つたからさがしてゐるんだ』

女『おやさう、これは御苦勞樣』

○『おゝお前はお花さんぢやアねえか』

と聲をかけた、この女は櫻屋のお花、鳴海絞りの單衣物に博多の伊達巻をして立つてゐる、その姿は如何にもあだめいてゐる花『おやまア博正町の親分でございますか』

といつたがこれは豆庄といふ綽名のある南北町奉行の御用聞です。

吉田眼科醫院
平紺屋町　電話六八番
醫學士　吉田久雄

舊十二月二十日ヨリ二十八日マデ
新一月十四日ヨリ二十二日マデ
舊年末特價大賣出し
產地破格品大量仕入
本年掉尾の大奉仕!!

特價品一部
ニコ〳〵　八十錢
仝伴天地　金紗小紋　七圓
着尺モス　五十五錢　金波羽織地　六圓八十錢　御婚禮式着
白地手拭　村山大島　五圓　江戸袴
白新毛斯　二圓五十錢　銘仙布團地　二圓八十錢　訪問着帶
四十八錢　銘仙　二圓八十錢　羽二重御紋付
五十錢　◎外ニ京呉服大特價　御袴地

新型東コート　新柄ショール陳列
白キャラコ足袋（一足）金十錢
……贈るに便利　商品券　受けて重寶な……
三井呉服店
電話　三八・二八四番

店主が店員を連れて行かれる
正シイ食堂
正シイ喫茶
正シイ酒場
平・田町
レストラン　サロン
電三五二番